

事業概要説明書 [1]			事業番号	2-15	
事務事業名	歯科健診委託事業	担当部名	健康管理部		
事業開始年度	平成 12 年度	担当課名	健康増進課		
実施方法	委託	担当係	歯科栄養係		
根拠法令等	母子保健法第12条・健康増進法第17条				
事業の概要	目的 〔 何のために 〕	すべての市民を対象とした、口腔及び全身の健康の保持増進を図る。			
	対象・手段 〔 誰(何)に対して、何をするのか 〕	<p>対象:宮崎市に住所を有するもの</p> <p>実施内容:歯科保健推進に必要とみなされる歯科健診・相談・教育・事務等</p> <p>①歯科健診(1歳6か月児・3歳6か月児・妊婦・歯科健診等)</p> <p>②歯科相談(定期歯科相談、所内及び所外依頼の歯科相談等)</p> <p>③歯科健康教育(歯科健診時、市民等からの依頼があった健康教育)</p> <p>④フッ化物応用の推進</p> <p>委託先:宮崎市郡東諸県郡歯科医師会 (歯科医師1名・歯科衛生士2名を宮崎市保健所に常駐)</p>			
	事業の必要性	保健所には歯科医師、歯科衛生士を配置する必要がある(地域保健法施行令第5条)、また常時配置することで市民のニーズに柔軟に対応することができる。			
コスト	平成22年度(予算)		人件費		
	直接事業費	14,563 千円	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数
	人件費	1,320 千円	正規職員	750 千円	0.1 人
総事業費	15,883 千円	嘱託職員	570 千円	0.3 人	
平成22年度 直接事業費内訳	<p>旅費 121</p> <p>需用費 40</p> <p>委託料 14,397 (歯科医師1名、歯科衛生士2名 人件費等)</p> <p>会議参加負担金補助及び交付金 5</p>				

事業概要説明書 [2]		事業番号	2-15								
年度		平成21年度(決算)	平成22年度(予算)								
直接事業費		14,480 千円	14,563 千円								
財源	一般財源	14,480 千円	14,563 千円								
	受益者負担金	0 千円	0 千円								
	その他	0 千円	0 千円								
成果目標 〔 どのような状態を目指すのか 〕	<p>より多くの市民が歯科健診・相談・教育等を受けることで、</p> <p>①口腔内の健康管理の重要性を再認識し、歯科疾患の予防・改善を図る。</p> <p>②歯や口に関する悩みが改善される。</p> <p>③歯と口の健康に対する意識の向上及び全身の健康及び生活の質の向上を図る。</p>										
成果実績 〔 成果目標の達成状況等 〕	[状況]	想定した成果を得ている。									
	[説明]	<p>・歯科健診・相談・教育参加者数は12,000人超を維持しており、歯科保健に対する意識の向上が図られている。その結果の一つとしてむし歯有病者率が着実に改善している状況にある。</p> <p>・歯科スタッフが常駐することで、歯科専門職の視点で本市の歯科保健の現状を分析し、乳幼児から高齢者まで生涯を通して充実した歯科保健事業を行っている。</p> <p>・常駐している歯科医師が、事業実績データの統計を経年的にとっており、「フッ化物応用によるむし歯予防効果」や「歯周病とメタボリック症候群との関連」などについて分析を行い、歯科教育、むし歯予防等に活用しており、効果的で納得の得られる事業の推進に役立っている。</p>									
成果指標 〔 事業の実績及び目標 〕	指標名 (下段: 指標の説明)	単位	平成20年度 (実績)	平成21年度 (実績)	平成22年度 (目標)						
	歯科健診・相談・教育参加者数	人	12,734	12,721	13,000						
	フッ化物洗口実施園児数	人	2,401	2,527	3,300						
事業の方向性 〔 事業の現状と課題、今後のあり方等 〕	<p>歯科医師及び歯科衛生士による歯科保健事業の充実が図られることで、市民の口腔及び全身の健康の保持増進に寄与するものと考えている。今後とも歯科医師及び歯科衛生士を中心に歯科保健事業の充実を図っていく。</p>										
特記事項 〔 参考情報等 〕	<p>・平成21年度むし歯有病者率 1歳6か月児: 3.1% 3歳児: 27.0%</p> <p>・フッ化物洗口実施状況(保育所・幼稚園)</p> <table border="1"> <tr> <td>施設数</td> <td>実施園数</td> <td>実施割合</td> </tr> <tr> <td>153</td> <td>54</td> <td>35.3%</td> </tr> </table>					施設数	実施園数	実施割合	153	54	35.3%
施設数	実施園数	実施割合									
153	54	35.3%									

【補助資料】 歯科健診委託事業

<経緯>

保健所を設置する市の保健所は、市町村保健センター等の歯科保健活動の拠点となり、歯科保健業務の専門的かつ技術的な業務の推進が求められます(都道府県及び市町村における歯科保健業務指針より)。

宮崎市においては、中核市移行に伴い、平成11年12月に宮崎市保健所が設置され、平成12年度から宮崎市郡東諸県郡歯科医師会と歯科医師1名、歯科衛生士2名の派遣委託をしています。歯科医師および歯科衛生士が専門的な知識の提供および具体的な保健指導等を行うことにより、歯科保健対策の充実を図ることが、市民の口腔および全身の健康の保持増進に寄与するものと考えます。

<実績> ※歯科保健事業に参加する方は増加しています

歯科保健事業	H19年度		H20年度		H21年度	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
1歳6か月児健康診査	57	3,173	59	3,352	68	3,601
3歳6か月児健康診査	56	3,109	60	3,076	68	3,301
歯科健康教育	112	2,873	94	3,369	74	3,231
歯科相談	120	1,356	134	1,740	145	1,766
妊婦歯科健診	8	328	12	291	15	331
フッ化物洗口施設訪問	26	748	36	906	34	491
計	379	11,587	395	12,734	404	12,721

○歯科保健関係統計処理・統計による事業評価

事業実績データ等を活用して、「フッ化物応用によるむし歯予防効果」や「歯周病とメタボリック症候群との関連」などについて分析を行い、事業の評価を行っています。

○宮崎市郡東諸県郡歯科医師会との連携

歯科医師会所属の歯科医師に対しての研修会を行ったり、会報等を活用するなどして、宮崎市の歯科保健の現状等について周知を図り円滑な歯科保健事業に繋がっています。

【歯科健診の様子】



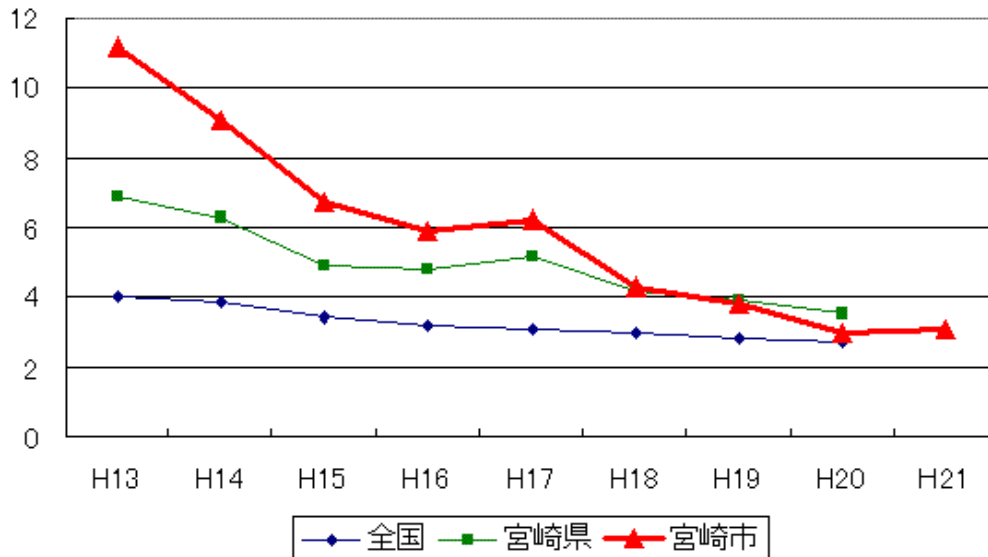
【歯科健康教育】



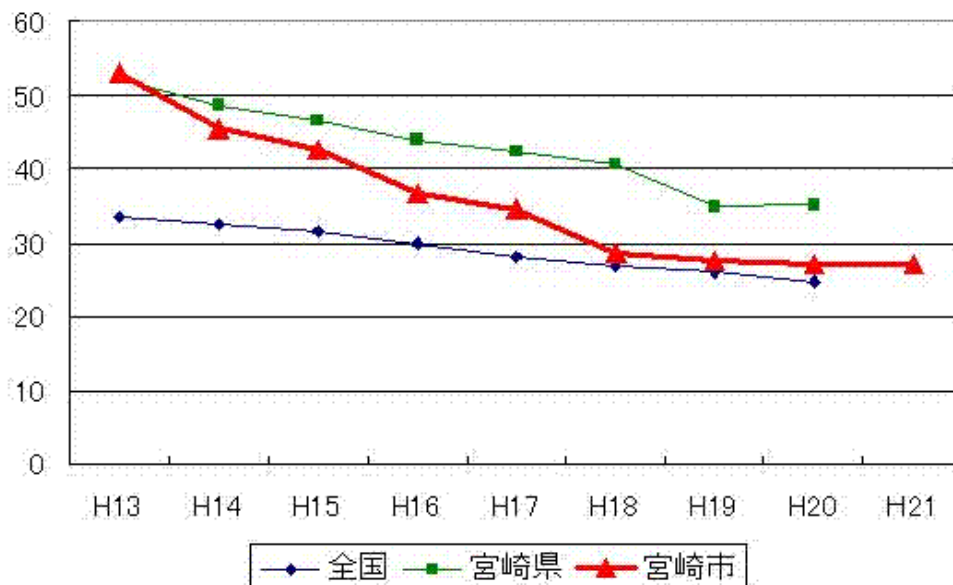
<宮崎市のむし歯有病者率>

※1歳6か月児・3歳児ともに、宮崎市は年々着実に減少しています！

1歳6か月児むし歯有病者率(%)



3歳児むし歯有病者率(%)



<今後の課題>

歯科保健事業の参加人数が増加しており、市民の方々の歯科保健に対する意識が高くなっていることは伺えます。しかし、歯科保健事業に参加した方の満足度や、実際に歯科疾患の予防・改善に繋がっていることを評価出来ていない現状にあります。アンケート等により、市民のニーズを把握し、歯科医師および歯科衛生士を十分に活用した歯科保健事業の充実を図っていく必要があると考えます。